

発達センターあつた 2019年度保護者向け自己評価アンケート集計

配布期間 2020年1月22日から29日 配布数36家庭 回答35枚 ( )は前年度データ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	保育者の評価を踏まえた 改善目標
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	65% (71%)	24% (25%)	11% (0%)	0% (4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊技室が狭い。</li> <li>・普段スペースはあるが、発表会などの広いスペースが狭い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室の活動内容によっては、人数などと分ける等工夫していきます。</li> <li>・行事等では、安全面に配慮しながら室内、園庭の有効活用に努めます。</li> </ul>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	46% (50%)	38% (21%)	14% (21%)	2% (7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性について保護者にどのように知らせていますか？</li> <li>・人数は十分だが専門性には疑問。</li> <li>・専門性、職員のスキルにばらつきがある。正直、親たちの方が対応しているのでは？と思うような職員もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルや専門性については、研修等で向上を目指していくことが常に必要と考えて実行しています。</li> </ul>
	③	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちが活動する上で適切な空間となっているか	19% (50%)	46% (25%)	30% (25%)	5% (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方はとても気をつけて下さっているが、老朽化の点で建物自体の問題で限界がきている。</li> <li>・建物の老朽化によるものやゴキブリなども出るので清潔とはいえない。</li> <li>・部屋の隅にクモの巣がかかっている。</li> <li>・努力はされているが建物も遊具も古いので良い環境とはいえない。</li> <li>・夏には害虫がおもちゃや戸棚から毎日出てくる。そうじも不十分。</li> <li>・歩くと足の裏が汚れる。</li> <li>・子どもが顔をつけるのでカーテンの衛生面が気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な清掃や照明器具の交換、飾りつけ等を必要に応じて実施します。</li> <li>・毎日、降園後に清掃を行っています。また、毎週一回職員全体で環境整備を行っています。</li> <li>・カーテンについては、学期に一回洗濯をしています。</li> </ul>

	④	建物や設備等子どもたちが安心、安全に過ごせるよう整備されているか	19% (25%)	35% (11%)	38% (57%)	8% (7%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の老朽化、耐震性が心配</li> <li>・早く施設を建て替えてほしいです。</li> <li>・戸の立て付けが悪い。</li> <li>・エアコンが壊れている。</li> <li>・床が傾いている。</li> <li>・老朽化している扉など開けにくく不便</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化については、法人の将来計画策定委員会でも継続的に論議をすすめていきます。</li> <li>・名古屋市の次期障害福祉計画策定に向けた議論の中でも課題にあげられていますので、建て替えと機能充実に向かいたいと思います。その際は、是非お力をお貸しください。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	87% (89%)	5% (7%)	3% (0%)	5% (4%)		
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	86% (79%)	11% (14%)	0% (4%)	3% (4%)		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	81% (68%)	14% (25%)	0% (0%)	5% (0%)		
	⑧	日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか	92% (86%)	8% (14%)	0% (0%)	0% (0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなできたを積み重ねたことでいろんな事ができるようになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の子どものとらえをすすめると同時に、日課や生活、あそびの内容を固定化することの無いよう努めます。</li> </ul>
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか	22% (43%)	32% (25%)	38% (18%)	8% (14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういう機会があったら良かったと思いますが、定型発達のお子さんを預かる所からすると受け入れがたいのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、7月に公立保育園と交流保育をしました。保育園からの要望で年長さん同士で交流しました。例年、年2回公立保育園との交流保育を行っています。</li> </ul>

保護者への説明等

⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	84% (89%)	11% (4%)	5% (0%)	0% (0%)		
⑪	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	87% (93%)	5% (4%)	0% (0%)	8% (4%)	・市や県で決められたねらいや基準があるということでしょうか。	
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（子どもと一緒に捉え、理解を深める支援）が行われているか	76% (79%)	5% (11%)	8% (0%)	16% (11%)	・母親研修や外部の方を招いてのプログラムはもっと早い時期に受けたかった。	・保護者のみなさんのニーズをつかみ。家族支援プログラムを実施しています。具体的に学びたいことや、招きたい講師の方がみえましたら、いつでも職員にお伝え下さい。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90% (93%)	5% (7%)	5% (0%)	0% (0%)		
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	81% (93%)	14% (7%)	5% (0%)	0% (0%)		
⑮	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	92% (96%)	5% (0%)	3% (4%)	0% (0%)		

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	70% (75%)	22% (18%)	3% (4%)	5% (4%)		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	81% (75%)	11% (18%)	3% (4%)	5% (4%)		
	⑱	定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	73% (71%)	16% (7%)	3% (7%)	8% (14%)	・自己評価の結果の意味が分からなかった。 ・月間行事予定で記載されていない予定や登園日の間違いがある。	・予定など間違いが無いよう複数の職員で確認するよう努めます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	73% (57%)	11% (25%)	0% (14%)	16% (4%)		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	75% (64%)	14% (18%)	0% (4%)	11% (14%)		

	⑲	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86% (86%)	3% (4%)	0% (0%)	11% (11%)		
満足感	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	92% (86%)	8% (7%)	0% (4%)	0% (4%)	・あつたに通えて本当に良かったと心から思っています。	・引き続き、子どもたちが楽しく安心して過ごせる場になるよう努めます。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	70% (71%)	22% (25%)	5% (4%)	3% (0%)	・どの先生も安心してお任せできる基準に達してほしいです。 ・とても満足しています。	

## 発達センターあつた

### 事業所職員向け 児童発達支援評価表(2019年度)

\* この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

\* 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題・改善すべき点
環境整備等	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・共有スペースは時間差で使用している。	・カーテンレールにつかまり、曲ってしまう。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・年度途中の入退職は、あったが求人募集はしっかりできていた。 ・年度途中で退職した職員も居て、その後なかなか応募などなかったがパートさんの勤務が決まった。	・フリーで働ける職員が増えるといい。 ・デスタッフ、事務等、人手としては助かっているところもあるが・・・ ・退職してしまう職員がおり、その後、担任が決まらない。 ・職員が足りていない。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・職員で段ができないよう板をはめたりしている。 ・潤滑油などつけるが、なかなか改善には繋がらない。	・未歩行や歩始めの子がいるクラスでは床暖房やマットなど用意できるといい。 ・バリアフリー化するには、建て替えの必要性がある。 ・段差などは多い。 ・扉の開閉がしにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	・壁面をはったり修理したりしている。 ・建物の老朽化が目立つが、できる限りの清潔さを保っている。 ・色々な部屋があることは良い。	・老朽化して錆がついたり壁が剥がれたりしているところ。 ・老朽化が深刻となっているが、まだまだ清潔にすることはできるので、徹底していきたい。 ・害虫の発生、侵入を防ぎたい。 ・掃除は丁寧に行っているが、害虫が多い。風向きによって下水の匂いがひどい時がある。 ・建物が古い為、どうしても虫がよく出てしまう。建て替えの検討が必要。 ・老朽化 ・老朽化は著しい。

						・量の老朽化が進んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・苦情解決委員会などで、意見をもらっている。 ・苦情解決委員会の内容など報告を全体にもしている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・もう少し外部講師に入ってもらえるといい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通した検査(NCプログラム等)を利用できると良い。	・書式については、もう少し他通園との交流をしたい。

	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・大きくは計画を基にだが子の姿に合わせて考えたりもしている。 ・なるべく行っているが、ニーズは変わってくる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別活動の時間を特別にとっているわけではないが、活動の中で、グループに合わせるなどの工夫をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・延長保育でいない職員もおり、ケースの保障時間が少なくなっている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・日々のケースの活用
関係機関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		



や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・保健センターの連携会議など。		
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・引継ぎ書やアフター訪問を行っている。 ・引継ぎ表を送り、巡回もしている。 ・巡回訪問を行っている。	・1回の巡回指導で足りているか・・・充足ではないと思う。 ・引継ぎ表と1回の巡回は行っているが、その後のフォローなどはなくなっている。	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・引継ぎ書やアフター訪問を行っている。 ・巡回訪問を行っている。 継続的には行えていない。	・1回の巡回指導で足りているか・・・充足ではないと思う。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・法人内はある。 ・南部地域療育センターそよ風との会議など。	・法人外での連携は、そこまでしてないので太いものではない。 ・研修などで他の施設など見学できると良い。 ・もっと外部の方からの助言がもらえるような機会があるといい。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・近くの公立保育園との交流保育はあるが、回数は少ない。 ・交流保育は行っているが、回数は数少ない。 ・公立 NS2園との交流保育	・年に2～3回なので、機会としては少ない。	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・関わり方をお互い情報共有している。 ・内容の充実にむけていきたい。	・充分かといえば、職員の力量なのか・・・ ・個別での保護者支援を丁寧にしたい。	
	保護	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

者への説明責任等	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○			
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・内容の充実を図っていきたい。	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	34	子どもや保護者からの相談の申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月1回、園だよりを発行し、予定を伝えるようにしている。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・LINEやメールなどでのやりとりが、なかなかなくなるらない。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・あったかカーニバル	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			

	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・マニュアルを作成し職員全体で確認している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
非常時等の対応	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修としては不足しているかも。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

以上の結果を公表致します。頂いた意見をもとに、保育内容等の改善に努めていきます。  
アンケートへのご回答ありがとうございました。

管理者（園長）：安藤典明  
児童発達管理責任者（療育主任）：矢形進